

問 今年度計画の認可保育園建設によって待機児童の状況はどうなるか。

副町長 町子ども・子育て支援事業計画に沿って、平成30年度は新規で認可保育園2ヶ所を整備し、平成32年4月の開園を目指す。この2園で180人の定員増となる。

問 南風原町4幼稚園の3歳児受け入れ計画に変更があるか。

教育長 庁内のプロジェクトチームで検討を進めている。

問 認定こども園の設置及び認可保育園の増設計画はどのように推移しているか。

副町長 認定こども園については、開邦幼稚園が移行を希望しており、平成31年4月開園に向けて進めている。増設については、平成28年に1園、平成32年4月開園に向けて2園の整備を予定している。

待機児童ゼロの対策は



玉城 勇 議員

答 毎年、認可保育園の増設を行っている

青年県外・国外研修の評価と計画を問う

問 青年の県外・国外研修及び受入事業の評価はどのように考えているか。

教育長 海外移住者子弟研修生受入事業で61人受け入れた。青年海外派遣事業については、南米3カ国に2回4人、ハワイに2回4人、合計8人を派



研修生の三線の稽古の様子

遣している。両事業の参加者は各国とのパイプ役として活動している。引き続き、南米、ハワイからの研修生受け入れを行っている。

高齢者福祉と外出推進について

問 高齢者の外出を手助けするために、特に役場、病院、買い物等に地域コミュニティバスの運行が以前から望まれているが、どのように思うか。

副町長 高齢者の外出支援については、病院受診や買い物等の支援も含めて調査、検討を進めているところである。

問 コミュニティバスが運行すれば、高齢者はもちろん、町民も利用できる。総務も民生も一緒になって取り組むべきと思うがどうか。

町長 町の事業全体を見渡して優先順位も考えながら対応していきたい。